48.12.5 (678)

二持して診療所へ

陸別町議会で本決まり

陸別町国保病院をどうするかをめぐつて三年がかりでもめつづけてきた陸別町議会では、十一日から三日間の定例会において診療所に格下げして再スタートすることが本決まりとなりました。

この問題については四十七年九月の定例会で調査特別委員会（西野一郎委員長）を設けてとりくんだものの結論が出せず、本年二月の臨時会で杉田町長から診療所案が示されたが賛否両論が立してまとまらず、竹内議長の異例の職権開会で問題をタナあげとしていましたが九月の定例会ではこんどは杉田町長から陸小跡地へ二十五ベッドの病院新築案が提出されて議会はOKとなつたものの、その後の道との折衝では財政的に病院は無理であるとの指導があつて、二転、三転してふたたび診療所案に舞い戻つたもので、二日目の十二日の補正予算審議のなかで病院建設予定地地質調査委託料として四十万円が計上したことについての松台副議長の質問にたいして杉田町長は

病院を建設すると表明したが、その後財政の点で道と折衝したが、病院は特別地方債で一億一千六百万円の償還となり、名称を便宜上診療所にすれば過疎債四千八百六十万円に振興基金の借入れ六千万円で償還のさいは三千五百九十三万円で、差引八千万円となる、名称的に一歩後退するが、内容的には二歩前進と考える、八千万円を他の福祉事業にふり向けるのが得策である、名称は診療所だが内容は病院でいきたい、これまでに病院を建てるくらいの赤字をもつてきた、職員も従来どおりで将来は立派な病院となるのでご理解を得たい、一時的苦難を乗り切りたい町民は理解されるものと信ずる、でなければ現在の病院でいくしかない

と答えました

が、さらに松台副議長から『九月から一、二ヵ月で変るのは合点がいかない』池尻議員も『重大問題なので明日の本会議でくわしくききたい』渡辺議員は『ここでハツキリ決めたい』などのヤリトリがあつて、議案終了後の最終日に、ふたたび町長の説明をきいて長時間の論議のあと、診療所として陸小跡地に明年新築することに決着をつけました

この議会では四十三年から本年までの一般会計から病院会計への貸付金元利計九千七百二十七万円を負担金にして帳消しとしましたが、このほかに補助金として七千八百四十一万円を出しており、共済組合の借入れ金が一千万円あり、町財政にとつて病院は全くの重荷となつているうえに、現在の飯島彬子医師は年末かぎりで退職するのでその後任探しが大変で、道としては陸別町は無医町村ではなく開業医とも三名なので医療には恵まれた部類とみており、病院ともなれば医師、薬剤師、X線技師、検査技師、看護婦などの定数があり、現状では人的にも財政的にも無理であるとの意向だつたものの、道も市町村も同じ自治体であるからには『病院はダメだ』と内政干渉じみた態度には出れないようで、それでなくても町内には診療所移行は福祉行政の後退であるとして抵抗する革新勢力の動きもあるので道としてはウカツなことはいえず、したがつて町長としてもゆきつ戻りつの状態で頭をかかえ、議会としても特別委員会を設置しながら結論が出せず、お互いにまわり道をした結果となりました。

三木副総理を囲んで

雌阿寒岳頂上の標護を揮ごうしてもらつた三木副総理（環境庁長官）に足寄町からお礼にと、町営民芸品作業所で特製の彫りもの（戯れる熊三頭）を院内大臣室に小林町長、大滝議長らが訪れたところを本名代議士秘書がパチリ。

この日おりよく町開発促進期成会から上京した近藤、前寺、柴田松崎委員に、池袋の西武デパート本店で開催中の北海道物産展に招かれて出演した雌阿寒太鼓保存会の福士会長以下のメンバーも打ちそろつて大挙御礼言上（11月13日）

寄付が一、七二二万円に

定例才四回の陸別町議会は十一日午前十時にひらき会期を三日間として、はじめに渡辺産業厚生委員長から「みどりの園」建設期成会の陳情について『福祉基本条例の制定は困難だが検討すべきであり、建設助成について要請があれば相応の助成をすべきである』との審査報告があつて

矢鋪議員　寄付はどのくらい集つたか

渡辺委員長　建設費と運営費の指定寄付を合せ一千四百六十一万七千六百十一円で、保育牛舎などに七百万円くらいかかるので二百万円ほど足りない、園舎の建設費は五千五百八十九万六千円ときいている

などの質疑があつて報告どおりに採択。（なお、休憩中に竹内理事長から園生が三十二名の定員に達し、雪印が六十頭を預託し指導員と園生十名程度で扱い、寄付の内訳は建設資金に四百七十八万六千五百二十四円、運営資金として百三十万一千三百五十七円で、町外から三十五万三千五百円役員が一千七十八万円で計一千七百二十二万一千三百二十一円と報告）

つづいて各委員会の所管調査報告、町長の行政報告があつて

松台副議長　十勝総合開発期成から空港の協力を申し入れたというが内容をききたい

杉田町長　帯広空港の移転適地を探すというが、陸別へは二時間もありほど遠く要請はないが、その時点で考えたい

国部議員　町長は二カ月に一度上京しているが、寒地研究所の報告がない

杉田町長　学園都市に包含する考えなので難しいがこんごとも努力する

矢鋪議員　二年前に交通事故の渡辺職員へ見舞金の報告がない、どうして見舞金十万円を出したのか、十月に産業課の振興係をへらし開発係へまわした報告もない

杉田町長　被害関係が完結したので一応見舞金を出し本人は辞退したが、名称に問題はあるが理解して頂きたい、庁内の異動は国有林野の活用で来年度の審議会に間に合わせるため急拠異動した

矢鋪議員　補償金で出すべきでないか、見舞金では不労所得になるので本人は愛情銀行へ寄付した、迷惑でないか、上陸云々で一人ふやすのはおかしい

杉田町長　センター運営委員会で見舞金とした、名称に問題はあるがもろもろの事情によつた、上陸の陳情で農地が狭いので、新たに五十二林班が営林局から好意ある回答ですすめるために異動した、陳情がなくてもすすめるべきである

などの論議があつて、このあと十議員からの一般質問をおえて午後三時半から協議会にうつしました。

給与・報酬など引き上げ

二日目も午前十時すぎに再開して、上水道会計の受託工事費増を承認、財産処分として釧北町有林九千五百七本、一千八百七十五立方㍍を二千五十八万八千円で阪口林業に売却を決定、パイロット事業にともなう町道七本を認定、職員給与条例を改正・特別職の給与や議員報酬をつぎのように四月にさかのぼつて引きあげることにしました。

町長26万5千円、助役21万8千円、収入役18万8千円、数育長18万3千円、議長6万5千円、副議長5万2千円、委員長4万5千円、議員4万2千円

つづいて職員休日を十二月三十一日から一月五日までに改正、老人憩いの家基金条例を制定して渡辺木材の寄付三十万円をふくめて二百万円を積立て、明年度陸小跡地に二千三百万円、百坪程度で新築の予定にしています。

このあと給与改定を主にした各会計の予算を舗正して、午後四時三十分に散会しました。

小坂山の着工式

野上電鉄不動産による足寄町上利別奥地帯の小坂山周辺約一千㌶の大型観光開発については、十一月末で境界測量がおわり、あとは道知事による農業振興地域の指定解除を待つばかりですが、九月三日の町議会で小坂山の売り払い議決のさいは支庁の担当者が現地を調査して、この地帯は農耕にも草地にも植林にも適しないことを確認しておりながら、町が十月に申請手続きをし支庁長権限で処理できることがらなのに二ヵ月もモタモタしており、年末を迎えてシビレを切らした業者の方では二十六日に現地で着工式だけでもあげる予定にしています。

お役所仕事もさることながらジャンボな農地転用に慎重を期しているためです

看護婦さん募集

準看護婦・看護婦見習　各三名

一、経験のある方は特に高給優遇します。
二、経験者のパート勤務も歓迎します。
三、看護婦寮（個室）の設備があります。
四、昇給、退職手当その他の制度があり。
くわしくは面談の上ご相談いたします。

内科　外科　婦人科　我妻病院

足寄町南二区　T二四二七院長宅T二〇二〇

新柄婚礼衣裳　きものと帯は　㊐久保呉服店　足寄町　T二一四八

おでん　はじめました　スナック　シャンブル　足寄町南一区　T二四三九

カメラ　八ミリ　写真材料　上野カメラ堂　上野復興　足寄駅通り　T二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替　二段ベッド　敷物一式　マットレス　小林畳店　小林幸三郎　足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

お正月のお飾り　〆縄　舞玉　御神酒口　神棚幕　飾り物　十二月二十日から元足寄劇場前で「歳の市」　武藤野菜店　足寄町南一区　T二七一二

開店ごあいさつ　このたび足寄町大通り道銀支店近くの丸京衣料センター跡に質流れ品専門店として開店いたしました。特に背広洋服、着物など新品同様のものをお安く勉強しております。お気軽にお立寄り下さい。　質流れ品　藤田直売所

家具と建材　信用は最大のサービス　技術と納期を誇る！　家具　建具　製造販売　住宅内装に新建材を！　佐藤家具建材店　足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！　ビクター　テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ　ーあらゆる電気器具ー　有限会社　ミネ・デンキ　足寄町三笠通り　T 2642